環境経営レポート

対象期間

2023/7/1～2024/6/30

株式会社 粂田商店

発行日：2024 年 10 月 23 日

目　次

1.　会社概要 2

2.　環境経営方針 3

3.　環境経営推進体制 4

4.　環境経営目標 5

(1)　運用期間の環境経営目標 5

(2)　短期・中期の環境経営目標 6

5.　環境経営計画 7

6.　環境経営目標の実績と評価 8

7.　環境経営計画の評価と今後(次年度)の取り組み 9

8.　自社の取り組み 10

(1)　社内での取り組み 10

(2)　社外での取り組み 10

(3)　緊急事対策訓練 11

9.　環境関連法規制への違反、訴訟等の有無 11

(1)　環境関連法規等の遵守状況 12

(2)　違反、訴訟の有無 12

10. 代表者による全体の評価 13

(1)　見直し結果 13

(2)　活動結果の評価 13

1.会社概要

(1) 事業所及び代表者氏名

事業所名　：株式会社粂田商店

代表者氏名：代表取締役社長 粂田良

(2) 所在地

本社･工場　〒421-0421

静岡県牧之原市細江 3247

(3) 環境管理責任者

環境管理責任者氏名：粂田良

連絡先 TEL<0548>22-2101　Mail info@kumeta.co.jp

(4) 事業概要

ポリエチレン袋の製造・印刷・販売、包装資材販売

(5) 事業規模

従業員数：8 名 (2022 年度)

床面積　：1,264 ㎡

(6) 対象範囲

① 認証･登録範囲

全組織・全活動

② 活動レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日
発行　　：2024 年 10 月 23 日

2.環境経営方針

環境経営方針

＜基本理念＞

株式会社粂田商店は、人々に新たな価値をもたらす製品、サービスの創造をしていくとともに、全社員が共通のビジョンを持ち、自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

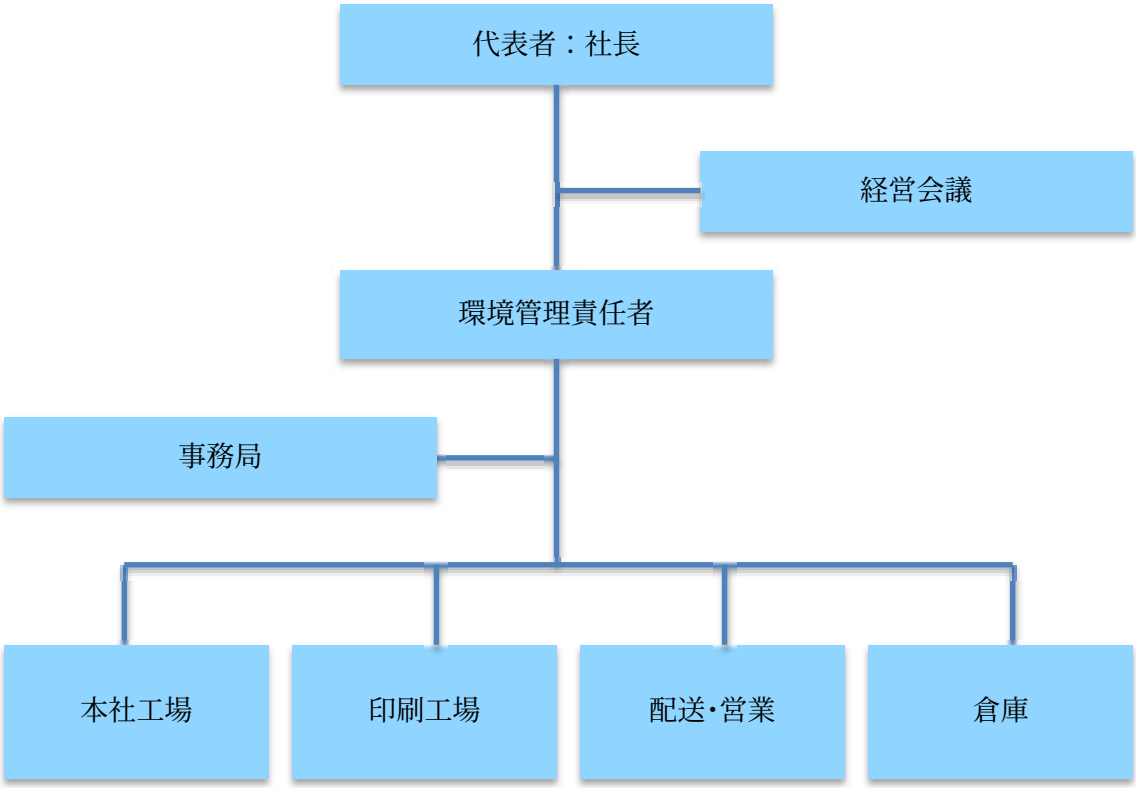
＜行動指針＞

1. 資源の効率的な活用と作業効率の向上に努めます
2. 省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます
3. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します
4. 化学物質の適切な管理、使用量の削減に努めます
5. PDCA サイクルによる、環境経営の継続的改善をします
6. 環境に関する法規制・取り決め事項を遵守します
7. 地域社会の環境保全に、責任ある対応を行います
8. 全社員が高い意識で環境保全に貢献できるよう、環境教育を推進します
9. 環境保全に関する、情報開示を積極的に行います

制定日：2018 年 2 月 27 日
改定日：2019 年 7 月 29 日
改定日：2023 年 8 月 26 日

株式会社粂田商店
代表取締役 粂田 良

3.環境経営推進体制



担当	権限と役割
代表	① 環境経営全般に関する責任と権限 ② 環境経営に必要な資源の準備 ③ 環境経営システムの評価と見直し
経営会議	① エコアクション 21 に関する活動内容の審議 ② 環境目標,環境経営計画の確認 ③ 環境活動実施結果の評価と改善点の確認
環境管理責任者	① 環境経営システムの運用･管理 ② 環境経営目標,環境経営計画,レポートの作成 ③ 代表への取組状況の報告
事務局	① 環境経営目標、環境経営計画の進行管理 ② 法規制の遵守状況確認 ③ 文書･記録の管理
各工場,営業,配送担当者	① 現場での環境経営計画の実施 ② 問題点、改善点の提起 ③ 環境保全活動、環境教育の推進

4.環境経営目標

我が社は、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、環境経営目標の設定方法として前年度実績を基準値とする「スライド方式」を採用している。

(1) 短期の環境経営目標

	項目		単位	基準 2022 年度 2022 年 7 月~2023 年 6 月	目標 2023 年度 2023 年 7 月~2024 年 6 月
1	二酸化炭素排出量	排出量	kg-CO_2	35,509	35,331
		基準年度比	%		-0.5%
2	電力	実量	Kwh	35,433	35,255
		基準年度比	%		-0.5%
3	ガソリン	実量	L	5,673	5,644
		基準年度比	%		-0.5%
4	軽油	実量	L	2,941	2,926
		基準年度比	%		-0.5%
5	灯油	実量	L	505	502
		基準年度比	%		-0.5%
6	LPG	実量	kg	14.80	14.72
		基準年度比	%		-0.5%
7	水使用量	実量	m^3	427	424
		基準年度比	%		-0.5%
8	化学物質			適正管理する	適正管理する
9	資源 (クラフト紙)	実量	kg	950	945
		基準年度比	%		-0.5%
10	一般廃棄物	実量	kg	530	527
		基準年度比	%		-0.5%
11	環境に配慮した製品の提案		件	7 件	8 件

1. 購入電力の二酸化炭素係数は、中部電力 2020 年度の調整後排出係数「0.379kg-CO_2/kWh」を使用

(2) 中期の環境経営目標

	項目		単位	2023 年度実績 基準	2024 年度 目標	2025 年度 目標	2026 年度 目標
1	二酸化炭素 排出量	排出量	kg-CO_2	35,121	34,945	34,770	34,594
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
2	電力	実量	Kwh	32,621	32,458	32,295	32,132
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
3	ガソリン	実量	L	5,844	5,815	5,786	5,756
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
4	軽油	実量	L	2,987	2,972	2,957	2,942
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
5	灯油	実量	L	571	568	565	562
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
6	LPG	実量	kg	15.20	15.12	15.05	14.97
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
7	水使用量	実量	m^3	424	422	420	418
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
8	化学物質	実量		適正管理する	適正管理する	適正管理する	適正管理する
		基準年度比					
9	資源 (クラフト紙)	実量	kg	1,000	995	990	985
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
10	一般廃棄物	実量	kg	860	856	851	847
		基準年度比	%		-0.5%	-1.0%	-1.5%
11	環境に配慮した 製品の提案		件	8 件	9 件	10 件	11 件

1. 購入電力の二酸化炭素係数は、中部電力 2020 年度の調整後排出係数「0.379kg-CO_2/kWh」を使用

5.環境経営計画

項目	活動内容	責任者	日程
① 電気使用量の削減	✓ 製造の効率化(設備稼働日数の削減) ✓ 日中、不要時の消灯、電源 off(設備,PC) ✓ 空調の適温化	松本	通年
② ガソリン、軽油使用量削減	✓ 配送、営業の効率化(ルート選定) ✓ エコドライブ(燃費管理) ✓ 倉庫の 5S、動線の改善	増田	通年
③ 灯油、LPG 使用量削減	✓ 必要な区域や時間に限定して使用 ✓ 断熱シート等で、熱のロスを防ぐ ✓ 保温用ポットの使用	大石 山崎	通年
④ 水使用量の削減	✓ 節水の呼びかけ ✓ 車両、装置洗浄における水使用量の削減	増田	通年
⑤ 化学物質の削減	✓ トルエン排出量の削減 ✓ インキ、溶剤の適正発注、適正管理	松本	通年
⑥ 資源の有効活用	✓ 資材の再利用(クラフト紙等) ✓ 簡易包装の徹底 ✓ 包装単位、包装形状の考察	洞口	通年
⑦ 一般廃棄物の削減	✓ 製品ロスの削減 ✓ 再生製品の製造量の拡大 ✓ 分別の徹底(廃プラスチック、紙) ✓ コピー用紙、封筒の再利用 ✓ FAX の PDF 化 ✓ 再資源化の推進(紙管、パレット)	粂田	通年
⑧ 環境に配慮した製品の提案	✓ 再生原料製品の代替提案 ✓ 原料使用量を抑えた製品の開発・提案 ✓ バイオマス製品の提案	柚田	通年
⑨ 環境教育、環境美化活動	✓ 全社員で環境目標の共有 ✓ 工場周辺の緑化に取り組む	全員	1/6 通年

6.環境経営目標の実績と評価

項目		単位	2023 年度 目標値	2023 年度 実績値	評価	コメント
二酸化炭素 排出量	排出量	kg-CO_2	35,331	35,121	○	• 印刷工場、加工工場の電力で大幅に使用量が削減できた
	目標値比	%	-0.5%	-0.59%		
電力	実量	Kwh	35,255	32,621	○	• 工場、事務所の LED 化をした
	目標値比	%	-0.5%	-7.47%		
ガソリン	実量	L	5,644	5,844	×	• 遠方への営業、物量が増加
	目標値比	%	-0.5%	+3.54%		
軽油	実量	L	2,926	2,987	×	• 小ロット化により配送効率は悪化している
	目標値比	%	-0.5%	+2.08%		
灯油	実量	L	502	571	○	• 前年より寒気が長く使用期間が長かった
	目標値比	%	-0.5%	+13.74%		
LPG	実量	kg	14.72	15.20	○	• ポットの使用など必要最低限にしている
	目標値比	%	-0.5%	+3.26%		
水使用量	実量	m^3	424	424	○	• 水道の締め忘れやトイレの流しっぱなしなど気を付ける
	目標値比	%	-0.5%	0.00%		
化学物質	実量		適正管理する	適正管理した	○	• 環境に配慮した、代替案により印刷物を減らしている。また、使用した化学物質については適正管理した
	目標値比					
資源 （クラフト紙）	実量	kg	945	1,000	×	• 新規受注により紙の使用量は増加しているが、再利用できるものは再利用している
	目標値比	%	-0.5%	+5.82%		
一般廃棄物	実量	kg	527	860	○	• ゴミ処理の時期ずれによるもので、来年は１回分マイナスになる
	目標値比	%	-0.5%	+63.18%		
環境に配慮した 製品の提案		件	8 件	8 件	○	• 再生原料、バイオ原料製品の拡販

※　評価　○:+0%以下　△:+1%～+5%　×:+6%以上

※　目標値比＝[（実績値－目標値）÷目標値]×１００

7.環境経営計画の評価と今後(次年度)の取り組み

環境活動項目	活動内容	評価	コメント	今後
① 電気使用量の削減	✓ 設備稼働日数の削減	○	生産性の向上により削減した	継続
	✓ 日中、不要時の消灯、電源 off	○	貼り紙を追加し、継続して呼びかけ	継続
	✓ 空調の適温化	○	冷房 28℃程度、暖房 20℃程度にした	継続
② ガソリン、軽油使用量削減	✓ 配送、営業の効率化(ルート選定)	○	配送の効率は上がり、軽油の削減は達成	継続
	✓ エコドライブ(燃費管理)	×	業務に支障のない範囲で管理方法を模索	継続
	✓ 倉庫の 5S、動線の改善	○	棚を設置するなど、改善はされている	継続
③ 灯油、LPG 使用量削減	✓ 必要な区域や時間に限定して使用	○	不要時のストーブの使用を無くした	継続
	✓ 断熱シート等で、熱のロスを防ぐ	○	屋根の断熱材の追加をした	継続
	✓ 保温用ポットの使用	○	ポットは活用できている	継続
④ 水使用量の削減	✓ 節水の呼びかけ	○	節水の呼びかけはできているが、水道の出しっぱなしなどがあった	継続
	✓ 装置洗浄における水使用量の削減	○	バケツを使用して水の使用量の削減に努めた	継続
⑤ 化学物質の削減	✓ トルエン排出量の削減	○	印刷の削減が提案営業でできている	継続
	✓ インキ、溶剤の適正発注、適正管理	○	法に従い管理している	継続
⑥ 資源の有効活用	✓ 資材の再利用(クラフト紙等)	○	再生紙で良いものは全て再生紙で対応	継続
	✓ 簡易包装の徹底	△	運搬先に最適な包装を考える	継続
	✓ 包装単位、包装形状の考察	△	製品の折りたたみ方の改善を繰り替えしていく	継続
⑦ 一般廃棄物の削減	✓ 製品ロスの削減	○	仕入先とも協力し段取りを減らしている	継続
	✓ 再生製品の製造量の拡大	○	再生原料の使用を増やしている	継続
	✓ 分別の徹底(廃プラスチック、紙)	○	紙、プラスチックのリサイクルが増加	継続
	✓ コピー用紙、封筒の再利用	○	裏紙の再利用をしている	継続
	✓ FAX の PDF 化	○	FAX を減らしている	継続
	✓ 再資源化の推進(紙管、パレット)	○	リサイクルできている	継続
⑧環境に配慮した製品の提案	✓ 再生原料製品の代替提案 ✓ 原料使用量を抑えた製品の開発・提案 ✓ バイオマス製品の提案	○	提案ができている	継続
⑨ 環境教育、環境美化活動	✓ 全社員で環境目標の共有	○	毎週のミーティングで確認できている	継続
	✓ 工場周辺の緑化に取り組む	○	事務所、工場周辺の緑化や美化に取り組んだ	継続

8. 自社の取り組み

(1)　社内での取り組み

◇工場の LED 化、事務所の LED 化◇

◇包装紙のリユースや分別リサイクルの促進◇

(2)　社外での取り組み

◇工場周辺のごみゼロ活動、工場周辺の河川の清掃活動◇

(3)　緊急時対策訓練

作成日：2024/6/3

作成者：粂田良

印刷工場の火災訓練（6）

訓練目的	火災発生時の手順の確認		
訓練種目	火災訓練	訓練時間	2024/6/3 8:00～8:40
訓練場所	事務所→印刷工場	参加者	全社員
想定	印刷作業中工場から発火		
対応策・訓練内容			
①火災時の現場対応マニュアルの確認 ②初期消化活動 ③避難、応急処置方法の確認 ④ 危険物の保管・管理点検			
追加対策	避難経路や消火器の位置等位置図、連絡網の確認		

9.環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される、環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024 年 7 月

法律・条例		遵守事項、規制基準	当社の適用	遵守
廃棄物処理法	第 5 条	所有・占有・管理土地の清潔の保持	不適正処理廃棄物発見の速やかな通報等	○
	第 6 条の 2 第 6 項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の順守	○
消防法	第 9 条の 4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	第四類　第一石油類　ガソリン・トルエン等	○
	第 11 条	指定数量以上の危険物保管の届出	指定数量以上の危険物保管の消防署への届け出	○
	第 13 条	危険物の取扱作業に関して保安の監督	危険物取扱者の設置	○
	第 17 条の 3	消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○
浄化槽法	第 10 条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
	第 11 条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1 回/年)	○
REACH 規制		REACH 適合材料の納入		○

(2) 違反、訴訟の有無

過去 3 年間にわたり、当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

10.　代表者による全体の評価

2024 年 10 月 23 日

(1)　見直し結果

	項目	見直しの有無	コメント
1	環境経営方針	無	現時点での見直しは不要とする
2	環境経営目標	有	環境経営目標を新たに設定する
3	環境経営計画	無	現時点での見直しは不要とする
4	環境マネジメントシステム	無	現時点での活動に問題はないと判断する

(2)　活動結果の評価

	項目	評価
1	環境経営目標達成状況	製造、配送など分野ごとに効率化は進んでいる
2	環境経営計画実行状況	責任者の横の繋がりも大事にし、今後も継続して取り組んでいく必要がある
3	環境マネジメントシステム	担当者が責任感を持って目標に向かい実行している
4	環境関連法規等の遵守	遵守されている
5	外部への対応	近隣より苦情はなし。工場周辺外の 5S も推進する

株式会社粂田商店

代表取締役　粂田 良